

日本クラブハウス連合

(Japan Clubhouse Coalition : JCC)

平成 26 年度 事業計画 (案)

1 . JCC 代表者会議

定期的に JCC 代表者が集まり、各クラブハウスの状況共有や国内におけるクラブハウスモデルの広報、啓発等を展開するために年 3 回の代表者会議を実施する。開催場所は輪番制とし、各クラブハウスの活動場所や雰囲気共有する機会にもする。

時期	場所	内容
2014 年 6 月	ゆうせん	・ 総会、第 4 回アジア会議関連の準備
2014 年 10 月	ストライドクラブ	・ アジア会議の振り返り、報告書作成へ向けての準備等
2015 年 3 月	ピアステーションゆう	・ 平成 27 年度の事業計画および予算の検討

2 . 定期スカイプ会議

- ・ 毎月 1 回、第 2 月曜日、13:45 ~ 14:50 に実施する (緊急の事案については、随時連絡を取り合い、臨時スカイプ会議を行う)
- ・ 司会および記録は輪番で行い、議事録等で情報を共有する。

3 . 第 4 回 アジアカラブハウス会議 開催

- ・ 第 4 回 アジアカラブハウス会議を成功させる。
- ・ 詳細は別紙、開催案内や専用サイトを参照。

4 . 広報および啓発活動

ホームページ

- ・ 状況に応じて JCC およびクラブハウスに関する情報を更新していく。

フェイスブックの活用

- ・ JCC の活動や近況等を随時アップする。
- ・ 更新作業については担当者を明確にするなどして、責任をもって取り組むようにする。
- ・ URL : <https://www.facebook.com/japan.clubhouse.coalition>

関連書籍の管理と販売

- ・ クラブハウス関連の書籍を事務局で整理・管理し、JCC ホームページに書籍情報を掲載すると同時に積極的な販売を展開していく。
- ・ 2011 年 1 月に実施した日本版 NCDT (New Clubhouse Development Training) で使用した資料冊子を新たに製本しなおし、販売できるコンテンツを増やす。

国際基準の日本語版リーフレットの作成

- ・ クラブハウス国際基準（2012年改訂版）の日本語版リーフレットを活用する。
- ・ 残数がわずかになり次第、現状の訳文を見直すなどして、改訂版を作成する。

関連学会への参加（派遣）

- ・ クラブハウスモデルおよび日本クラブハウス連合の実態や活動内容、また調査研究成果を関係機関等と共有するために、関連学会（日本精神障害者リハビリテーション学会；岩手大会；2014年）へメンバーやスタッフを派遣し、分科会等で発表を行う。

その他

- ・ JCC ニュースレターの作成を継続的に検討する。
- ・ JCC 加盟クラブハウスが3週間研修に参加する場合は、代表者会議で検討し、研修援助費を支給する。
- ・ 広報啓発等に関連する行事や取り組みを継続的に実施するために、民間の助成金に積極的に応募する。

5. クラブハウスモデルに関する調査・研究

実態調査

- ・ 2014年6月頃、CPQ(Clubhouse Profile Questionnaire)をベースにした実態調査を JCC およびアジア地域のクラブハウスに対して行う。
- ・ 結果については、第4回アジアクラブハウス会議の全体会で発表し、その後は JCC ホームページ等でも公開する（日本語版、英語版）。

科研費採択研究への協力

- ・ 「精神障害者リハビリテーションとしてのクラブハウスモデルに関する日韓中の比較研究(研究代表者：加藤大輔、研究課題番号：26780327、研究期間：26～28年度)」に協力し、アジア地域におけるクラブハウスモデルの実態把握や有効性等を共に検証する。

6. 法人格（NPO）取得へ向けての準備

- ・ 年度内の NPO 法人格取得へ向けて、連合規約（旅費規程含む）の法人化に合わせた改正を図る（「規約」は「定款」に変更）。

7. その他

- ・ JCC として窪田暁子先生を偲ぶ会を企画する（2014年度下半期）。その際には、日本ファウンテンハウス友の会や日本クラブハウス推進会議等に関わってこられた方々にも呼びかけを行い、窪田先生の功績等を共有する。